

2017 明治安田生命 J2 リーグ 第 31 節 vs. 愛媛 FC

9/3 (日) 18:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



2017 J2 順位表 第30節

勝点、得点、失点、得失点差、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	湘南	63p	36	21	+15	A△
2	福岡	56p	39	24	+15	A●
3	名古屋	52p	59	48	+15	A△
4	徳島	51p	50	27	+23	A△
5	長崎	50p	36	32	+4	H△ A●
6	東京V	49p	45	33	+12	A●
7	横浜FC	48p	42	31	+11	H● A●
8	松本	46p	44	29	+15	H●
9	岡山	46p	33	31	+2	A△ H△
10	大分	45p	41	38	+3	H●
11	水戸	44p	33	31	+2	HO
12	千葉	43p	47	44	+3	H● AO
13	山形	43p	31	36	-5	H△
14	愛媛	40p	38	45	-7	A●
15	町田	39p	41	38	+3	AO H●
16	京都	37p	38	38	0	A△ HO
17	岐阜	34p	40	43	-3	---
18	金沢	30p	29	52	-23	HO
19	讃岐	29p	34	45	-11	AO
20	熊本	28p	28	42	-14	H● A△
21	山口	22p	32	50	-18	H△
22	群馬	15p	20	58	-38	AO HO

次回HomeGame

第34節 vs. アビスパ福岡

9/24 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱東京UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

today's guest : 愛媛FC

2016 J2 12勝20分10敗 勝ち点56:10位

直近の対決と結果

2017/06/11

J2 - 18節@ニスタ

愛媛 2-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	愛媛FC
2017/08/26 J2 - 30節@フクアリ 千葉 1-3 岐阜	2017/08/27 J2 - 30節@ニスタ 愛媛 0-3 東京V
2017/08/20 J2 - 29節@長良川 岐阜 0-1 讃岐	2017/08/20 J2 - 29節@ニスタ 愛媛 1-1 町田
2017/08/16 J2 - 28節@えがおS 熊本 0-0 岐阜	2017/08/16 J2 - 28節@Cスタ 岡山 0-1 愛媛

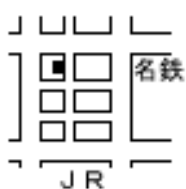
●夏休みシーズン・真夏の3連戦の最後、8/20 (日) 第29節・讃岐とのホーム戦だったが、またも試合開始早々に失点。ボール支配率では上回るが、讃岐の粘り強い守備とカウンターに苦しめられ、結局1点も奪うことが出来ず0-1で敗れたFC岐阜。好調とはいえ下位の負けられない相手に不甲斐ない試合をしたことで、試合後は厳しいブーイングも選手に飛んだ。つづく8/26 (土) 第30節・千葉戦は、相手の主力3選手が出場停止ということもあり、奮起した岐阜の選手たちが試合を圧倒。試合開始直後に#14 風間宏矢が今季初ゴールを決め、そしてハットトリックを達成して、3-1とFC岐阜が快勝。5試合振りそして8月の初勝利を、アウェイに駆け付けた岐阜サポーターにプレゼントしてくれた。

ここ6試合、勝っても負けてもFC岐阜の順位は17位と変わらない状況だが、最下位・群馬とは勝ち点差を19に、21位・山口とは12に上げることができた。J2残留争いの目安として、下位チームが縮めることのできる勝ち点差は1試合で約1点とも言われており、今シーズンの残り試合は12。つまり、J2残留に関しては一段落できる勝ち点差をFC岐阜は稼ぐことができたということになる。また、18位・金沢との勝ち点差を4に上げ、16位・京都との勝ち点差を3に縮めることもできている。また、勝ち点6差に14位・愛媛までが射程に入っている。残念ながらプレーオフ圏の6位・東京Vまでは勝ち点差15と少し開いてしまったが、残り12試合、1つでも多く勝利を挙げて、1つでも順位を上げて欲しい。何より、まだまだ僕らはFC岐阜の勝利に飢えているのだ。

さて、今節の対戦相手は現在14位の愛媛FC。昨シーズンは10位、今年は新たに間瀬秀一監督を迎え、主力選手も大幅に入れ替わって出発したチームだ。第25節・名古屋戦では、J2最多得点記録更新となる4-7の試合を戦ったのは記憶に新しい。また前節は0-3で東京Vに敗れているため、強い気持ちで長良川に乗り込んでくるだろう。通算対戦成績では、FC岐阜の5勝10分6敗20得点27失点と若干負け越しているが、ホーム戦では4勝5分2敗17得点17失点と勝ち越している。前回の対戦・6/11 (日) 第18節アウェイ戦では、岐阜が何度も決定機を逃している、守備の乱れから失点し、結局は0-2での悔しい敗戦となってしまった。戦術的には、「自分たちのサッカーを貫く」ことを目指す岐阜の大木監督に対して、相手の長所を封じるサッカーを得意とするのが愛媛の間瀬監督と言えらるだろう。そんな対照的なサッカーで、前回の対戦では愛媛のサッカーが上回った。今節はホーム戦での相性の良さを活かし、その雪辱を果たすべく、岐阜の選手たちには奮起して貰いたいところだ。

愛媛の要注意選手は、やはり現在8得点でチーム得点王の#20 河原和寿だろう。愛媛で5年目を迎えたエースを抑えることが、岐阜の勝利には必要だろう。09~12年に愛媛に在籍していたベテラン#15 田森大己の堅い守りに期待したい。また攻撃陣では、前節千葉戦でハットトリックを挙げた#14 風間宏矢には、今節もゴールの量産を期待したいし、前回の対戦では残念ながら決定機を決めきれなかった#11 古橋亨梧には、溜飲を下げるような見事なシュートでゴールネットを揺らせて欲しい。

今節は「J2参入10周年記念」ユニフォームで迎える2試合目だ。前回のような不甲斐ない試合では、何のための「記念」なのか分からなくなる。記念すべき試合には、記念すべき勝利を飾ろう。そして前節に勝利したとはいえ、ホーム戦では1か月間未勝利という事実は変わっていない。勝利に向けて最後までひたむきに走る、FC岐阜の選手たちを信じて、その背中を後押しして励まし、時には叱咤激励する、そういった僕らの拍手と声援をスタジアムに響かせよう。そして、万歳四唱を。最後までその歓喜の瞬間を信じて、今日も全力でスタジアムを盛り上げよう。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

投稿募集 !!

gidaidohri@gmail.com

【第29節】岐阜0-1 讃岐

●夏休み最後の試合。対戦相手は下位・20位だが3連勝中と調子を上げている讃岐。ここを叩いておくと楽になれる……しかし、こないだの群馬戦は珍しく勝った(苦笑)けれど、こういう試合を何故か勝てないのがFC岐阜の伝統なのよね……(溜息)。

試合開始早々にDFラインの裏を1人縦に抜かれて、シュートを撃たれて失点。しかも、その得点を与えた選手が、一番やられたくない相手、かつてJFL時代に岐阜に所属していた#13木島徹也だったのが……(溜息)。

その後、岐阜もいつものポゼッションで攻めるのだけれど、讃岐の堅守に阻まれてか、普段よりもプレーが遅い。パスを一旦止めてプレーをすることが多く、せっかく相手のサイドにボールを持ち込んでも、一旦ボールを止めてしまうから、讃岐のDF陣に素早く戻られてしまい、結局は攻撃の芽を自ら潰してしまう。そして、讃岐のカウンターに脅かされて、さらに攻撃への積極性が奪われてゆく…。後半は岐阜も攻撃のギアを上げて讃岐のゴールに迫るけれど、それでもシュートへの意識、ダイレクトプレーで讃岐の守備を崩す動きが不足していて、讃岐のネットを揺らすことができない。結局、そのまま讃岐に逃げ切られて敗戦。夏休みでいつもとは少し異なる観客層が多かったこともあると思うけれど、不甲斐ない試合内容に、挨拶に来た選手たちに、久しぶりにゴール裏からブーイングが飛んだ。

改めて言うまでもなく、ポゼッション率を上げることは試合に勝つための、ゴールを奪うための“手段”であって、ポゼッションそのものが“目的”ではない。それに、パスサッカーだからこそ、ダイレクトプレーが重要なはずだ。つい、パスをすることが“目的”になりがちな落とし穴に今回ははまってしまった反省を、選手たちは次に活かして欲しい。(ささたく)

●完敗。ただ一言、これに尽きる。DAZNで見た、試合後の北野監督のガッツ・ポーズは「してやったり!」という気持ちの表れか、とか思ってしまうのは、ちょっとうがった見方だろうか?しかし、まさに目論見通りの展開にされてしまったね。やっぱり、「計算通り!」って叫んでるだろ、北野さん(苦笑)。

とにかく、問題は先制点。先制した方が優位に運べるというのは論を待たないが、特にウチの場合は、先制するのとされるのでは月とスッポン。それが、今回の讃岐のように、得点後はFWまでが自陣に戻ってフタをされると、もうね。ほとんど成す術を失ってしまう。挙句に縦のパスをカットされてカウンター。この試合も何度となくピクトルが防いでくれたから、何とか一点差に留めることができた。いや、彼ひとりの力だけですべてを防いだんじゃないことは承知ですがね。つつい、グチもこぼしたくなります。いくら、丸亀だからって、そこまでカメみたいに丸く閉じこもることないだろ!とか、つまらないギャグの一つも言いたくなるってもんですよ。こういう展開だと、どうしてもサイド一辺倒に見えてしまう。たまには、中を割らないとね。真ん中、ペナルティ・エリアあたりで受けても外へ回すだけでは、相手も怖がらないよねえ。この試合で一番相手ゴールに近づいたのは、後半に宏矢が入れたクロスを悠史がダイレクトで叩いたシーンかな?惜しむらくは、得意の左足ではなかったためか、当たりそこないになってしまったこと。千載一遇のチャンスだった。でも、もしかしたら、同じ後半に翼が入れたクロスがもっともゴールに近かったかもしれない。クリアするため、ゴールに向かってスライディングしてきた讃岐DFの足がもう50センチ前にあったらOWN・ゴールだったという意味で(笑)翼といえば、開けてビックリ!な左SBでのスタメン。バランスを考えつつ、慎重な位置を取ってはいた。決して悪い出来ではなかったが、福村と比較できる出来とは到底言えず。福村という攻撃のアクセントを欠いていたことも、丸亀の穴熊を攻めきれなかった理由だろうね。

いずれにしても、フタをしてくる相手には難儀する。それをどうこじ開けるか。今季は、もうこの難題と付き合い続けるしかない。いつのまにか、夏の移籍期間も閉じてしまった。今後移籍があるとすれば、GKは別にして育成型移籍か、無所属の選手しかない。もちろん、今季のJ1昇格圏内、あるいはプレーオフ圏内を狙っているワケではない(ないよね?)ので、大枚をはたいての選手獲得に意義は見いだせない。だから、このまま、今の選手で熟成させていくことに異論はない。問題は、熟成する頃にはシーズンが終わっていて、さらに熟成が間に合わず、無念の降格……とかになることだった。幸い、どうやら、何とか降格圏内に下がることはなさそうだし、J3から昇格する目も薄そうな現状。例年のような不安は抱かずともよさそう(苦笑)。ならば、今季終了まで大木サッカーの熟成を一喜一憂しながら見守っていくか。憂は一つだけでは済みそうにないような気がするが……。

とりあえず、このウップンは次節で晴らす、晴らしてほしい。千葉さんなら出てきてくれる。長良川での借りを返そう!(ぐん)

●試合後、岐阜のゴール裏からは厳しいブーイングも飛んでいたようだ。でも、ぼくにはこの試合が選手をブーイングで迎えるほど岐阜が悪いサッカーをしたとは思えなかった。

4月のアウェー戦ではエブソンをサイドに置くという(苦肉の策だったんだろうけど)『塹壕戦の名手』北野將軍らしからぬ手を打ち、岐阜の強烈な左サイドの攻撃に防衛線を破られた。しかし、この試合ではぼくらの知っている讃岐が戻って来ていた。アランとアレックスを中心に深い塹壕。両サイドまでは掘れなかったので、岐阜のサイド攻撃は「そこまでは」機能した。しかし、拠点攻略の要である中央の攻撃陣はしっかりブロックされる。「これだ!これが讃岐だ!」という感じ。うどん屋さんが新規顧客開拓のためにラーメンも始めたけれど、うどんの味も落ちてしまって客足が遠のき、「やっぱりウチはうどん屋だ」と戻したところちゃんと味も客も戻ってきた、という感じかな。開始早々に先制できたことも、『北野式塹壕戦』がやりやすくなった要因だろう。

そして、読者諸兄諸嬢もご存知の通り、今季の岐阜はまだ「このレベルの塹壕」を破れない。サイドで揺さぶりをかけても中の防衛隊が出てこない、そこで終わってしまう。今季、何度も視てきた「敗戦の方程式」。これはもうしょうがない。その局面を火力(いわゆるチカラワザ)で突破するサッカーを今季の岐阜は作っていないからだ。

讃岐としては「ホームの仇はアウェーで晴らした」試合だし、岐阜としては「第1戦で快勝した相手だからって次も勝てるわけじゃない」という当たり前の事実を当たり前に報された、そんな試合。(吉田铸造)

【第30節】千葉1-3 岐阜

●つい先日の名古屋-愛媛戦で記録を破られたけれど、J2最多得点記録タイの4-6という、いわゆる「馬鹿試合」を演じた千葉が今回の対戦相手。今回も激しい点の取り合いになることが予想されたけれど、しかし、実にありがたいことに(苦笑)、千葉は#8清武功暉#9ラリベイ#10町田也真人の3選手が累積警告で欠場。この3人で今季の47得点中27得点を挙げてるんだから、言ってみれば「飛車角落ち」……あれれ、GKまで2週間前に加入が発表されたばかりのアルゼンチン選手?ええと……どゆこと?これって僕ら、ターンオーバーされてるの?(苦笑)

さて、試合開始…おおい、いきなりイヤな攻め込まれ方だったぞ、相手のシュートに助けられたけれど……って思ってる間もなく、今度は#11古橋亨梧が左サイドを切り裂いてクロスを上げ、そこに#14風間宏矢がヘッドで合わせて、あっという間の先制点!(笑)いやいや、前回だって立て続けに失点されてるんだから、油断はでき……今度は右サイドを#17大本祐槻が切り裂いてクロスを入れ、これに再び#14風間宏矢

がワンタッチで合わせて追加点！(笑) うーん、やっぱり千葉は申し訳ないけれど、“1.5軍”なのか、前回のような攻撃に迫力がない。千葉のエスナイデル監督も特殊なサッカーだから、慣れてない選手だと難しいのかなあ…いや、岐阜の選手も連戦の疲れが抜けたのか、動きがよかったと思う。千葉の守備がハイプレスだから余計に効いたのだろうけど、縦に抜ける意識が高く、ワンタッチで繋いで相手を崩すプレーも多かった。特に僕が個人的に評価したいのは、#6 シシーニョ。中盤でボールを奪う動きの豊富さ、そして複数の相手選手に詰められても、それをヒラリとかわして味方にパスを出す…正にスペインの闘牛士(マタドール)。僕は「オーレ！」とかけ声をあげました(笑)。今シーズンの宏矢は“あと少し”の惜しいシーンが続いていたのだけど、今節は“ケチャドバ”でプロ初のハットトリック。これで自信を取り戻して、ゴールの量産体制に入ってくると嬉しいね！ただ欲を言えば、宏矢だけでなくもっともっと点が獲れたはず。今後も貪欲にシュートを、そしてゴールを狙って欲しい。

ちょっとジャッジが荒れてしまい大味な試合になってしまった感(苦笑)はあるけれど、それでも貴重な勝利・勝ち点3。しかも、フクアリは屋根付き専用スタジアムだから、サポーターの声もよく響くんですよ。試合終了後、約8千人の千葉サポが静まり返るフクアリに、朗々と響き渡る岐阜サポの“アイダ”。これぞアウェイ遠征の醍醐味。あまり何度も経験できる訳じゃありませんが、経験すると遠征がやめられなくなります(苦笑)。

ただ、この試合はあくまでも“参考記録”にしないといけないうちも思う。今後の対戦相手にも通じるかが重要。そのために、今節も油断せずしっかり頼みますよ！(ささたく)

●キックオフから42秒。1分も経たないうちに宏矢のヘッド。電光石火、と言いたいトコだが、ウチのボールになる前の千葉の攻撃。あっちの方が電光石火になるところだった。たぶん、50番だと思いが彼のシュートは力なく、ピクトルの正面へ。逆に、ウチはプル&アウェイで福村の縦パスを引き出したキョーゴがトイメンを交わし切らない位置からクロス。中には宏矢しかいなかったが、DF二人とGKを外しての先制点。福村のパスが絶妙だったのは言うまでもないが、前の二人で決め切った得点。クロスが上がった瞬間、「来るっ！」と感ずることができたシビれるゴールだった。そして、撃ち切れなかったCFと決め切ったCF。かたや、その後も外し続け、こなたは今季初ゴールからのハットトリック。エースの明暗が、そのまま試合を左右したキックオフ直後の応酬。とてつもなく、密度の濃い42秒間だった。

しかし、試合全体のペースは千葉。たぶん、ボール支配率で上回られたのは今季初。いつもはウチがやられてるコトをやられたワケだが、1点で済んだのはウチがキッチリとフタができたからじゃない。主力3人が累積で欠場した千葉に助けられた事実は否めない。ただ、キョーゴがシュート直前でクリアされた場面も含め、あと2点は取れたと思う。でも、3点差があればアイダ歌えたかな？3点差はキケンなスコアだけど、3-0じゃないからね(爆笑)。

それにしても、先制点の威力は絶大。ウチにとっては特に。そして、千葉に勝ってホントによかった。前節を出すまでもなく、フタをされ、挙句に先制されると手も足も出なくなる今のウチ。そんな今季のリーグ戦で、唯一勝てそうな相手が千葉。フタを持ってないどころか、底すらもない。ただ、攻撃のみに特化したプレースタイルが、ウチには実によくハマる。後期で勝てたのは、フタは持っているけど使う気がないみたいな京都。そして、持っているかもしれないけどフタの使い方がわかってないみたいな群馬。後期でやってないトコでは、隣県の赤いクラブもスタイルはかみ合いそう。でも、アソコは上位互換というか、トヨスタでやったのとは別のチームになっているからなあ(苦笑)。それでも、的確な補強が出来る資金力と選手を見極める眼力、その交渉力。中途加入の選手達の活躍ぶりは羨ましい限り。それも、クラブの実力のひとつ

ではある。ウチがめざすべきスタイルかどうかはわからないけど……。

何はともあれ、勝ち点3取れたのはよかった。8月初勝利と宏矢のハットトリックに乾杯！え？今季初ゴールかよ？宏矢……(苦笑)。(ぐん、)

●現地には行かなかったのでDAZNで視ての感想になるけど、一言で言うなら「こりゃ勝つわ」という試合。前回の対戦、岐阜は4-6で負けたのだけど、敗因は前線の火力不足。ポストが出来るラリベイに清武や町田が絡む攻撃に、岐阜の守備陣がまったく持ちこたえられなかった。その3人が揃って出場停止。しかもGKは初出場の外国人。そもそも千葉はDFがラインを思いっきり上げるのでGKとの連携なんてなくても特にいいのだけど、それにしても。

最終ラインを高くするリスクはスルーパスを出されること。だから、中盤が相手パサーに対してプレスにいかないとパスの出され放題になる。1点目の福村→古橋、2点目のパウロ→大本、3点目のタモ→大本。いずれもパサーへはほとんどプレスがかかってない。あとはラストパスをセンターFWのコーヤが決めることだが、コーヤもセンターらしくシンプルに「決めること」を徹底した。1点目の「試合開始42秒」って、もしかしたらJに上がってからのチーム最速記録かな？そして、岐阜のハットトリックはJ加入後は2009年・西川優大、2012年・佐藤亮一、2015年・難波宏明に続いて4人目かと、一見すると快勝に見えるしおそらく快勝なんだろうけど、やはり千葉の火力不足が大きな要因なんだろうなあ……。もし、例の3人のうち2人でもピッチにいたら、おそらく岐阜の中盤から後ろは強いプレッシャーをかけられ、あんなにノビノビとスルーパスを出せてはいないだろう。この快勝は、あくまで『追い風参考記録』として考えるべきなんだろうね。とは言うものの、センターで起用されたシーズン序盤はいろいろ考え過ぎて(いろいろ見えてしまう賢いプレーヤーだから、ではあるけど)サッカーをむずかしくしてしまっていたコーヤの覚醒、それとこれまで大本のフリーランを活かしてこなかった(くれなかった)パウロが彼を使ったこと。たしかに恵まれた環境ではあったけれど、その恵まれを活かした攻撃がしっかり機能したのは、とても嬉しいね。(吉田 Casting)

【ユース】G1リーグ戦

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は今年岐阜県内のユース世代のトップリーグであるG1リーグに参加しています。暫くの間は夏休みの中断期間に入りましたが、いよいよリーグ戦が再開されました。再開初戦の第10節メジャーFC戦は8月26日(土)に笠松町の岐阜フットボールセンター(以下GFC)にて行われました。結果はFC岐阜が3対2でメジャーFCに見事勝利！成績を7勝1分2敗の勝点22に伸ばす事が出来ました！ただG1リーグ上位4チームが共に勝利した為に4位という順位や上位との勝点差に変動は有りませんでした。そして昨日9月2日(土)に第10節現在3位の帝京大可児Bとの直接対決が有りましたが、結果はどうだったでしょうか？吉報が届いている事を期待しています。

この後は9月9日(土)GFCにて10時キックオフで第12節県岐商戦が、9月16日(土)GFCにて12時半キックオフで第13節関商工戦が、9月23日(土)長良川球技メドウにて10時半キックオフで第14節大垣工業戦がそれぞれ開催予定となっています。トップチームのホーム試合とは重なっていませんので、良ければ応援に行き行って下さい。目標(だよな?)のG1リーグ優勝の為にはここからの一戦一戦を大事に戦って行きましょう！頑張れよ、応援しているからな！！FORZA!FC岐阜ユース！！

※試合会場・時間に変更される場合が有ります。必ず岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

